

第 120 回 学長定例記者会見

日時：令和 2 年 4 月 23 日（木）10：30～11：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F1 会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様子を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田未来創生センター 4-1

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 被爆 75 年 ネット上の証言や記録映像から平和を考える
～ 新型コロナ感染拡大を踏まえた「平和科目」の取り組み ～

2. 広島大学内へのバス交通結節点整備について

3. 附属福山高等学校が令和 2 年度 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）
コンソーシアム構築支援事業における「カリキュラム開発拠点校」に選定
されました

■ 次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 2 年 5 月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス



令和 2 年 4 月 23 日

被爆 75 年 ネット上の証言や記録映像から平和を考える
～新型コロナ感染拡大を踏まえた「平和科目」の取り組み～

「平和を希求する精神」を理念の第一に掲げる広島大学は、2011 年度から全学選択必修科目（2 単位）として「平和科目」を開講しています。戦争、原爆、貧困、環境などを取り上げた平和科目群から一つを履修するとともに、平和記念資料館など平和に関するモニュメントを見学して、レポートを書くことを共通課題としてきました。

しかし 2020 年度は、新型コロナウイルスの感染が広がる現状を踏まえ、モニュメント見学を中止しました。それに代わって、インターネットからアクセス可能な記録映像、原爆体験記（被爆証言）などを視聴の上、「平和を考えるレポート」を作成することといたします。

被爆 75 年の節目に当たる今年、被爆者の方々の語りや被爆当時の記録映像にあらためて向き合うことで、「原爆が何をもたらしたのか」「平和のために自分は何ができるのか」など、学生一人一人に自分のこととして考えてもらいたいと願っています。

【お問い合わせ先】

教育室
教育推進グループ 京下
TEL:082-424-7134 FAX:082-424-8246

2020年度「平和を考えるレポート」動画及び体験記等が掲載されているHP一覧 List of website related to peace

動画HP一覧/List of Videos

No	言語	動画	動画URL
1	J	平和記念資料館 被爆者証言ビデオ	http://a-bombdb.pcf.city.hiroshima.jp/pdbj/search/col_testify
2	J	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 証言映像（動画）	https://www.global-peace.go.jp/picture/index.php?&dt=200409052903
3	J	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 朗読音声	https://www.global-peace.go.jp/sound/index.php?&dt=200409053551
4	J	NHKアーカイブス あの人の戦争体験	https://www.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/anohto/?kana=01
5	J	NHKアーカイブス 証言ライブラリー	https://www.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/no-more-hibakusha/library/shogen/
6	J, E	NHKアーカイブス/NHK Archeves 原爆に関する資料映像 /Videos related to the A-bombs	https://www.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/no-more-hibakusha/genbaku-video/
7	J	NHKアーカイブス アニメ ヒバクシャからの手紙	https://www.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/no-more-hibakusha/special/anime-letter/
8	J, E	中国新聞/The Chugokushinbun 動画で平和発信 /Messages for peace	http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post_type=peacemovies&lang=ja http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?post_type=peacemovies&lang=en

体験記等HP一覧/List of Testimonies

No	言語	体験記	体験記URL
9	J	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 体験記	https://www.global-peace.go.jp/taikenki/taikenki_kekka.php
10	J	朝日新聞 広島の声	http://www.asahi.com/hibakusha/hiroshima/
11	J	朝日新聞 聞きたかったこと	http://www.asahi.com/hibakusha/shimen/kikitakatta/
12	J	朝日新聞 長崎の声	http://www.asahi.com/hibakusha/nagasaki/
13	J	朝日新聞 ナガサキ ノート	http://www.asahi.com/hibakusha/shimen/nagasakinote/
14	J	中国新聞 記憶を受け継ぐ	http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?cat=3929
15	J, E, O	外務省/Ministry of Foreign Affairs of Japan 被爆者証言体験記（多言語あり）/A-bomb Testimonies	https://www.mofa.go.jp/mofai/gaiko/hibakusha/taikenki.html
16	J	被爆証言 一般社団法人東友会 被爆証言など	https://t-hibaku.jp/syougen/index.html
17	J	NPO法人（ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産の継承センター）	http://kiokuisan.com/%F8%A8%BC%F8%A8%80%E3%83%BB%F8%B3%87%E6%96%99/

※自分が見たい動画を視聴してください。/Please watch the videos you want to watch.
 ※言語（Language）：日本語（J）、英語（E）、その他（O）

令和 2 年 4 月 23 日

広島大学内へのバス交通結節点整備について

広島大学は、東広島市と、学内に新たなバス交通結節点を整備するための覚書を締結しました。

今後、公共交通の利便性を高めるため、連携して整備を行っていきます。

【バス交通結節点整備概要】

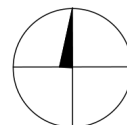
- 1 整備期間：令和 2 年度～令和 4 年度中の完成を目指す。
- 2 整備場所：広島大学敷地内
 - ① 広大中央口バス停
 - ② 大学会館前バス停
- 3 整備方法・内容：

学内敷地を活用し、利用者、歩行者の安全確保を前提とした待合環境の改善、交通モードのスムーズな接続等に資する施設整備を行っていきます。
（歩道、バスバース、駐輪場、待合室、待合上屋、パークアンドライド）

(1) 広大中央口

バスバース、待合上屋、
待合室、自転車駐輪場

N



山中池

広大二神口

二神山

広大西口

広大東口

ががら口

大学会館前

(2) 大学会館前

バスバース、待合上屋、
自転車駐輪場、パークアンド
ライド駐車場

共用棟

西条ステーション（農場）

国際交流会館

山陽新幹線東広島駅

0 50 100 150m

(1) 広大中央口

FAX:082-424-6020



令和 2 年 4 月 23 日

附属福山高等学校が令和 2 年度 WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業における「カリキュラム開発拠点校」に選定されました

このたび文部科学省より、附属福山高等学校が、WWL（ワールドワイドラーニング）コンソーシアム構築支援事業（以下、WWL 事業）の「カリキュラム開発拠点校」に選定されました。

WWL 事業とは、高等学校等と国内外の大学、企業や国際機関等が協働し、カリキュラムアドバイザーや外国人講師等も活用しつつ、グローバルな社会課題の解決等に向けた教科等横断的で探究的な学びを通じて、イノベティブなグローバル人材の育成を目指すものです。

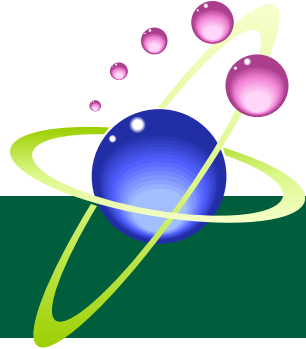
附属福山高等学校は、平成 27～令和元年度に SGH（スーパーグローバルハイスクール）事業に取り組み、その実績や成果等を踏まえ、WWL 事業へ申請していました。実施期間は 3 年間で、先進的なカリキュラムの研究開発と実践を行うとともに、管理機関である広島大学のリソースを活用し、「西日本をつなぐグローバルリーダー育成イニシアティブ」をテーマに、広島大学の留学生等と西日本各地の連携校との協働を進め、高校生の手による国際会議の開催など、高校生に高度な学びを提供する仕組みを形成していく予定です。

【お問い合わせ先】

広島大学附属福山中・高等学校

副校長 平賀 博之

TEL:084-941-8350 FAX:084-941-8356



西日本をつなぐグローバルリーダー育成イニシアティブ

育成を目指す生徒像

- ①「自由・自主」の精神
- ②「基盤となる教養」の獲得
- ③「クリティカルシンキング」の実践
- ④「問題解決」の経験知の蓄積
- ⑤「他者へのまなざし」の体得
- ⑥「リスク・コミュニケーション」に基づく創造性の醸成

中心となる開発課題

- ① グローバルな社会課題をテーマにした課題研究を組織的に進める体制の開発
- ② グローバルリーダーに求められる資質・能力の育成をめざすカリキュラムの開発
- ③ 地域を超えた「課題研究グループワーク・ネットワーク」の開発
- ④ 高度な内容を提供するアドバンスト・プレイスメント（A P）等の開発
- ⑤ 高校生が主体となって実施する成果発表会や国際会議の実施手法の開発

資質・能力と経験を兼ね備えた
グローバルリーダー

西日本をカバーする広域アドバンスト・ラーニングネットワーク（協働による課題解決の場の提供）

レスポンスビリティをベースに、異文化間のディスカッションを通して正義にかなう最適解を求める課題解決

SDGsの重要課題

地域を越えた課題の例
平和
環境
自然災害
交通
貧困



共通した
テーマ設定による
課題研究

共通課題を持つ
グループ同士で
ディスカッション

海外の高校生との協働
拠点校・連携校とつながる
海外の高校等を支援

国際会議を開催し
共通のテーマ
で議論

広島大学の留学生・
広島大学の学生によるサポート
（参加校のOB・OG等）

総合大学のリソースを活用

- ◇大学の授業への参加，研究室の紹介，研究への助言 → A P（アドバンスト・プレイスメント）
- ◇広島大学による高校生向け講座・教員向け講座（イノベーション創出のプロセスの提供）
- ◇参加校（連携校・海外の高校）の高校生をサポート 参加校OB・OGの広島大学の学生・大学院生・留学生
- ◇学校・教員への指導・助言，研修の提供，企業・行政機関等とのコラボレーション，ICTノウハウの提供

管理機関
広島大学

高大接続・入学センター
総合科学部国際共創学科
国際協力研究科
教育学部
情報メディア教育研究センター
情報科学部 等

目指す資質・能力を育成するためのカリキュラムの開発・普及

各校で使えるソリューションにパッケージ化 → 各校への提供

SGHでの研究開発の成果

- ・論理的な思考力
 - ・クリティカルシンキング
 - ・合意形成能力
- を育成するカリキュラム

事業
拠点校

全教科での共通理解
普段の授業を見直す

文理融合の新しい
カリキュラムの開発

体験を基盤とする課題研究
メソッドの開発

多様な異文化交流

実践の記録，的確な評価方法の開発，カリキュラム評価，卒業後の生徒の追跡調査 などによる成果の検証

広島大学
附属福山中・高等学校

広島県立
福山誠之館
高等学校

福山市立
福山高等学校

広島大学
附属高等学校

広島市立 SELHi
舟入高等学校

福岡県立
小倉高等学校

大分県立
大分上野丘高等学校

宮崎県立
宮崎大宮高等学校

鹿児島県立
甲南高等学校

